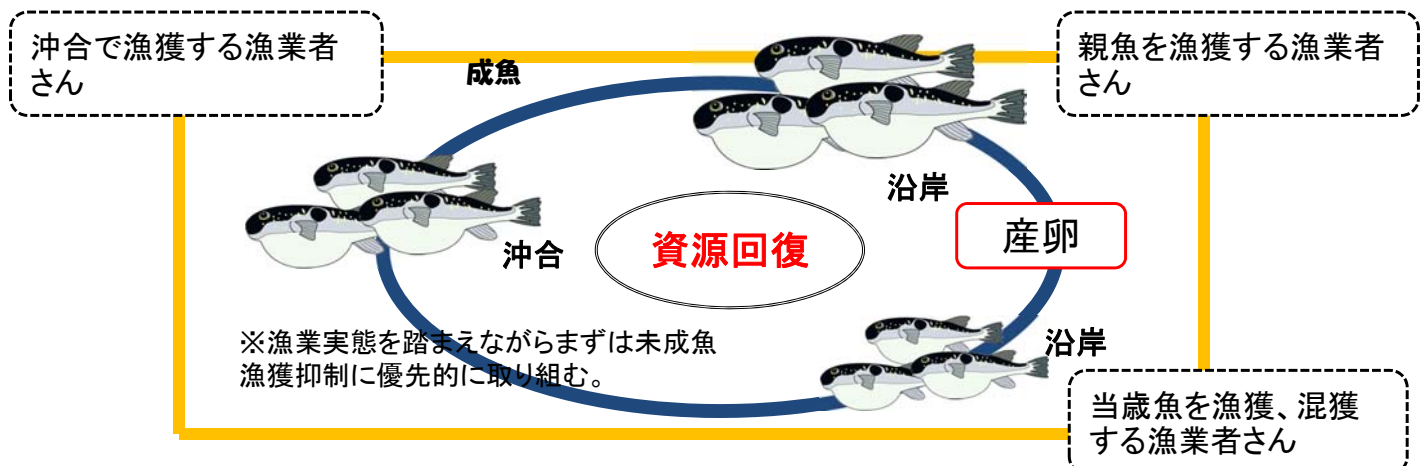


# トラフグ（日本海、東シナ海、瀬戸内海系群） の管理の方向性について

平成28年11月  
水産庁

## 1. 資源管理の方向性

- 資源回復のために目指すべきことは、
  1. 資源を利用する**全ての漁業が皆で一致団結して資源回復のために協力**する。
  2. **一つの漁業で獲り残した分を他の漁業が獲らない。**
- ◎ **未成魚の漁獲を我慢して獲り残し、親（成魚）にしていくことで資源回復の好循環を早く取り戻す。**



## 2. 資源管理の内容（第2回会議での決定事項）

### 当面の管理目標

現状の資源量790トン**を10年前後を目途に960トン程度**（2015年資源評価における2002年から2014年までの平均資源量）**まで回復。**

※中間的には5年前後を目安に875トン程度を目指して取り組み。

### 取組の徹底とさらなる検討

これらの科学データを参考として、**各浜での資源管理の取り組みの徹底、必要に応じた深掘りの検討。**

### 調査研究

水研センターや各府県の水産試験場等と協力し、**漁獲モニタリングや生物生態調査などを実施。**

## 3-1. トラフグ資源管理の検討状況について①

平成27年10月29日

### 第2回トラフグ資源管理検討会議

- ・当面の管理目標として、平均資源量960トン程度（2015年資源評価における2002年から2014年までの平均資源量とする）まで資源を回復させることとする。
- ・各浜での資源管理の取組み徹底と必要に応じた深掘りの検討。

平成27年11月19日  
～20日

### トラフグ全国協議会【研究】

- ・人工種苗放流に係る種苗生産等の情報交換及び追跡調査のための各放流群の標識種類の調整等を実施。

平成27年11月～

各府県を通じて、浜ごとの資源管理の取組み徹底と深掘りの検討を開始

平成28年2月18日

### 九州・山口北西海域トラフグ広域資源管理検討会議

- ・平成27年度の広域資源管理の取組やトラフグ延縄漁業に係る委員会指示、平成29年度以降の取組について協議

### 九州・山口西方海域関係県作業部会（未成魚漁獲抑制）

- ・各県の浜ごとの資源管理の深掘り検討状況の確認
- ・卓越的発生があった場合の緊急対応の検討

平成28年4月～

### 資源管理の深掘りに関し関係県との個別検討（瀬戸内海漁業調整事務所）

- ・未成魚漁獲抑制のための取組について、関係県の漁業実態を踏まえて個別に協議

平成28年6月22日

### 九州・山口西方海域及び有明海海域合同作業部会（未成魚漁獲抑制、成魚保護）

- ・トラフグ卓越緊急ルール、九州・山口北西海域トラフグ広域資源管理方針等について検討

## 3-2. トラフグ資源管理の検討状況について②

- 平成28年7月6日 九州・山口北西海域トラフグ広域資源管理検討会議  
・平成28年度広域資源管理の取組、平成29年度以降の取組及び卓越緊急ルール等について検討
- 九州・山口西方海域関係県作業部会(未成魚漁獲抑制)  
・卓越的发生があった場合の緊急対応の検討
- 平成28年7月15日 九州・山口西方海域種苗放流作業部会
- 平成28年7月20日 長崎県トラフグ資源管理漁業者協議会  
・平成28年度広域資源管理の取組、平成29年度以降の取組及び卓越的发生時の緊急対応等について協議
- 平成28年7月22日 瀬戸内海海域種苗放流作業部会
- 平成28年8月9日 山口県延縄協議会  
・トラフグ再放流サイズの変更、卓越年級に係る緊急対応等について協議
- 平成28年8月22日 佐賀県トラフグ資源管理漁業者協議会  
・トラフグ卓越緊急ルールについて協議
- 平成28年8月23日 福岡県ふぐ延縄漁業連絡協議会  
・卓越的发生があった場合の緊急対応等について協議

## 3-3. トラフグ資源管理の検討状況について③

- 平成28年8月23日 西日本延縄漁業連合協議会平成28年度漁撈長会議  
・トラフグ広域資源管理について、九州・山口北西海域トラフグ広域資源管理方針、卓越的发生があった場合の緊急対応等の協議
- 平成28年9月9日 瀬戸内海海域関係県作業部会(未成魚漁獲抑制)  
・瀬戸内海海域関係県における深掘りの検討状況について、情報共有・協議
- 平成28年9月18日 福岡県底延縄協議会  
・緊急ルール等について協議
- 平成28年11月1日 九州・山口北西海域トラフグ広域資源管理検討会議  
・平成28年度における広域資源管理の取組、卓越的发生があった場合の緊急対応及び平成29年度以降の取組等について検討

トラフグ漁業に係る府県別漁業種別一覧(平成28年11月14日時点版)

漁期 ■ 主漁期

(単位:トン)

瀬	府県	漁業種類	主漁場	12月												府県別漁獲量2012	漁業種類別2012	府県別2013	漁業種類別2013	府県別2014	漁業種類別2014	府県別2015	漁業種類別2015	現行の取組内容	今後の深掘りの可能性、方向性
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月										
瀬	鹿児島県	大型定置網	志布志湾												0.7	0.3	0.2	0.7	0.8	0.4	0.6	0.4	なし		
瀬	鹿児島県	まき網	北薩												0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	なし		
瀬	鹿児島県	一本釣り	北薩												0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	なし		
瀬	鹿児島県	その他													0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	なし		
瀬	宮崎県	はえ縄、小底、大型定置網など	日向灘												1.5	1.5	1.9	1.9	2.6	2.6	0.7	0.7	4月~8月の休漁、全長15cm以下の再放流	現行の取組を継続する	
瀬	大分県	一本釣り	豊後灘												15.6	1.6	14.3	13.5	0.3	12.6	0.2	0.2	全長20cm以下再放流	現行の取組の周知徹底を図る	
瀬	大分県	はえ縄	豊後灘												2.6	2.6	5.6	6.6	6.6	6.0	6.0	6.0	全長20cm以下再放流、トラフグを主目的とする漁業を禁止する期間の設定(4月1日~8月19日)、禁漁区域設定	現行の取組の周知徹底を図る	
瀬	大分県	小底	豊後灘												0.8	0.8	0.4	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	なし		
瀬	大分県	その他	豊後灘												0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	なし		
瀬	大分県	一本釣り	豊後水道												9.4	9.4	7.0	5.2	5.2	4.9	4.9	4.9	全長20cm以下再放流	現行の取組の周知徹底を図る	
瀬	大分県	はえ縄	豊後水道												0.8	0.8	0.3	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	全長20cm以下再放流、トラフグを主目的とする漁業を禁止する期間の設定(4月1日~8月19日)、禁漁区域設定	現行の取組の周知徹底を図る	
瀬	大分県	小底	豊後水道												0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	なし		
瀬	大分県	その他	豊後水道												0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	なし		
瀬	愛媛県	小底	燧灘												21.0	0.3	14.0	15.0	0.2	14.3	0.4	0.4	全長15cm以下再放流(小部漁協)	現行の取組の継続と再徹底	
瀬	愛媛県	小底	伊予灘												0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	1.6	1.6	1.6	全長15cm以下再放流	現行の取組の継続と再徹底	
瀬	愛媛県	小型定置網	西条地先												0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	全長15cm以下再放流	現行の取組の継続と再徹底	
瀬	愛媛県	小型定置網	布刈瀬戸												0.8	0.8	1.0	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	全長15cm以下再放流	現行の取組の継続と再徹底	
瀬	愛媛県	はえ縄	伊予灘												0.4	0.4	0.4	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	全長15cm以下再放流	現行の取組の継続と再徹底	
瀬	愛媛県	はえ縄	伊予灘、宇和海												1.9	1.9	0.3	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	全長15cm以下再放流、4/1~6/30自主禁漁(三崎漁協)	現行の取組の継続と再徹底	
瀬	愛媛県	はえ縄等	宇和海												18.5	18.5	12.0	11.8	11.8	9.6	9.6	9.6	全長15cm以下再放流、4/1~6/31自主禁漁(三崎漁協)	現行の取組の継続と再徹底	
瀬	福岡県	小底	豊前海												0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	1.6	1.6	1.6	なし	協議中	
瀬	福岡県	小型定置網	豊前海												0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5	なし	協議中	

府県	漁業種類	主漁場	12月												府県別漁獲量2012	漁業種類別2012	府県別2013	漁業種類別2013	府県別2014	漁業種類別2014	府県別2015	漁業種類別2015	現行の取組内容	今後の深掘りの可能性、方向性
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月										
瀬	はえ縄(徳山支店)	周防灘～伊予灘													13.9	7.5	15.8		14.9	13.6		全長15cm以下再放流、禁漁期間設定(4月1日～20日)、禁漁日設定(毎週日曜)、漁具規制(針の太さ(直径)1.2mm以上)	小型魚の採捕制限	
瀬	はえ縄(床波支店)	周防灘													0.3							全長15cm以下再放流、禁漁期間設定(4月1日～20日)、禁漁日設定(毎週日曜)、漁具規制(針の太さ(直径)1.2mm以上)	小型魚の採捕制限	
瀬	はえ縄(平生支店)	伊予灘～広島湾																				全長15cm以下再放流、禁漁期間設定(4月1日～20日)、禁漁日設定(毎週日曜)、漁具規制(針の太さ(直径)1.2mm以上)	小型魚の採捕制限	
瀬	はえ縄(室津支店)	伊予灘～広島湾													13.9			13.9			11.5	全長15cm以下再放流、禁漁期間設定(4月1日～20日)、禁漁日設定(毎週日曜)、漁具規制(針の太さ(直径)1.2mm以上)	小型魚の採捕制限	
瀬	はえ縄(上関支店)	伊予灘～広島湾																				全長15cm以下再放流、禁漁期間設定(4月1日～20日)、禁漁日設定(毎週日曜)、漁具規制(針の太さ(直径)1.2mm以上)	小型魚の採捕制限	
瀬	はえ縄(岩国市、周防大島町)	伊予灘～広島湾																				全長15cm以下再放流、禁漁期間設定(4月1日～20日)、禁漁日設定(毎週日曜)、漁具規制(針の太さ(直径)1.2mm以上)	小型魚の採捕制限	
瀬	小底(植生支店)	周防灘													5.6		1.9	1.9			2.1	全長15cm以下再放流	小型魚の採捕制限	
瀬	小底(宇部地区各支店)	周防灘																				全長15cm以下再放流	小型魚の採捕制限	
瀬	小型定置網	周防灘																				全長15cm以下再放流	小型魚の採捕制限	
瀬	小型定置網	山陽小野田市、厚狭川河口付近													0.4		0.0	0.0			0.02	全長15cm以下再放流	小型魚の採捕制限	
瀬	その他(釣り、一般遊り)	厚狭川河口付近																				なし	小型魚の採捕制限	
瀬	ひっかけ釣り	山口県瀬戸内海																				委員会指示により採捕禁止	委員会指示を継続	
瀬	小型定置網	福山市田島													0.4	0.4	0.8	0.3			0.6	全長10cm以下採捕自粛	全長12cm以下再放流	
瀬	小型定置網	福山市田尻													0.3	0.3	0.1	0.1			0.1	全長10cm以下採捕自粛	全長12cm以下再放流	
瀬	小型定置網	福山市走島													不明	不明	不明	不明			不明	協議中		
瀬	小型底びき	広島県海域													0.1	0.1	0.1	0.0			0.0	全長10cm以下採捕自粛	協議中	
瀬	はえ縄	広島県海域(主漁場は西部海域)													不明	不明	不明	不明			不明	全長10cm以下採捕自粛、漁船規制(5トン以上は許可漁業)		


府県	漁業種類	主漁場	12月 11月 10月 9月 8月 7月 6月 5月 4月 3月 2月 1月												府県別漁獲量 2012	漁業種類 2012	府県別 2012	漁業種類 2013	府県別 2013	漁業種類 2014	府県別 2014	漁業種類 2015	府県別 2015	漁業種類 2015	現行の取組内容	今後の深掘りの可能性、方向性
			12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月												
岡山県	底びき網	備讃瀬戸														2.8	0.4	7.0	3.0	3.3	1.9	調査中	調査中	全長10cm以下再放流(中部地区)	全長10cm以下再放流(全県)	
岡山県	袋待網	備讃瀬戸															2.4	2.4	4.0		1.4			全長10cm以下再放流(中部地区)	全長10cm以下再放流(全県)	
岡山県	定置網	備讃瀬戸																						全長10cm以下再放流(中部地区)	全長10cm以下再放流(全県)	
岡山県	その他(釣り、刺網)	備讃瀬戸																						全長10cm以下再放流(中部地区)	全長10cm以下再放流(全県)	
兵庫県	はえ縄	播磨灘															2.3	0.5	3.7	1.3	2.1	0.8	1.6	0.8	(五色町漁協)休漁日設定(5から9月の毎週土曜及び隔週火曜)	県内の漁獲実態を調査し、整理した上で、漁業者と検討する予定。
兵庫県	はえ縄	大阪湾北西部																0.0	0.4			0.0		なし	県内の漁獲実態を調査し、整理した上で、漁業者と検討する予定。	
兵庫県	小底	大阪湾北西部																0.1	0.2			0.1		なし	県内の漁獲実態を調査し、整理した上で、漁業者と検討する予定。	
兵庫県	はえ縄	紀伊水道北部																1.6	1.9			1.0		なし	県内の漁獲実態を調査し、整理した上で、漁業者と検討する予定。	
兵庫県	小底	紀伊水道北部																0.1	0.1			0.2		なし	県内の漁獲実態を調査し、整理した上で、漁業者と検討する予定。	
香川県	袋待網(込)	備讃瀬戸															7.2	6.9	17.5	11.3	10.4	8.1		なし	入会を含む調整上の問題があり、困難。	
香川県	袋待網(込)	備讃瀬戸、播磨																0.3	3.7			0.9		なし	入会を含む調整上の問題があり、困難。	
香川県	小型底びき網	香川県海域																						なし	5地区中4地区で、全長15cm以下再放流	
香川県	定置網	香川県海域																						なし	定置網の組織がなく、協議が困難。	
徳島県	はえ縄	紀伊水道															0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4	0.4	(紀伊水道延縄連合会)紀伊水道海域での禁漁期間設定(4/1~8/31)、500g以下再放流	現行の取組みを今後も継続。	
和歌山県	底びき	紀伊水道															0.5	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	なし	入会を含む調整上の問題があり、困難。
和歌山県	はえ縄	紀伊水道外域																0.5						0.1	0.1	現行の取組みを今後も継続



## 4. 外海における緊急ルールの検討・作成について（参考）

- 今後、卓越的な発生があった場合、これらは、成長に連れて、外海に出ていくことから、外海における緊急的な取り組みとして、関係県が連携して、一定程度の獲り残し策を模索するため、予め緊急ルールを検討、作成するもの。

### 緊急ルールの特徴

- 卓越的な発生が起きているのか、科学的にはっきりするまで相当の時間が必要！
  - 後になって、卓越的な発生だと分かって、それから関係県が集まって対応方針を協議していたのでは、せつかくの資源回復の機会を逃すおそれ。
- 
- ✓ 科学的アドバイスを得ながら、例えば漁獲状況の特徴から、経験則的に、卓越的な発生と推測される条件について、関係漁業者を含め合意【発動条件】
  - ✓ その上で、行政も入って、関係漁業者などと、取り組み内容を予めルール化。卓越的な発生の場合に、迅速な資源管理が行えるよう備えておく趣旨。

## 5. 平成28年度漁期におけるトラフグ資源回復に向けた緊急対応について

### 1. 趣旨・背景

2015年のトラフグ資源の加入について、卓越的な発生があった可能性が示唆されていることを踏まえ、関係県が連携して一定程度の獲り残しを行うための緊急的対応を平成28年度漁期において行うこととする。

### 2. 対象

山口県、広島県、福岡県、佐賀県、長崎県及び熊本県のとらふぐはえ縄漁業（広調委承認船・届出船）

### 3. 内容

- ・全長30cm以下の小型魚を再放流することとする。
- ・これまでの操業実績を踏まえ、漁獲努力量（総針数等を指標とする）の抑制・削減に努めることとする。

### 4. 将来に向けた対応（緊急ルールの検討・作成）

今後の卓越的な発生に備え、かかる状況において実施すべき対応やその発動要件を内容とする「緊急ルール」を予め定めておくべく、関係県間で検討・議論を継続。

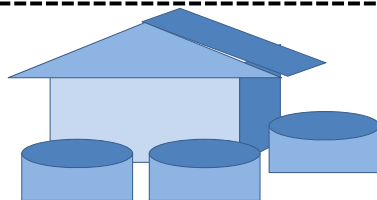
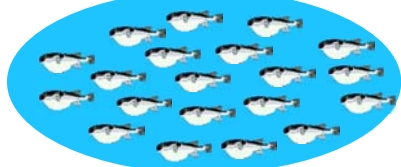
## ・ 未成魚買取り再放流等の取組み（瀬戸内海）

### 概要

- トラフグ未成魚の買取り再放流の取組みを本年度（2016）実施。
- 岡山県の協力のもと、7月から8月にかけて目標1,000尾の買取りを行ったところ、1,255尾（平均全長約8.1cm）となり、活魚車等で瀬戸水研（伯方島庁舎（愛媛県））に移送し、一時飼育。
- 本年10月に、瀬戸内海中央部で標識再放流（平均体長13.7cm, 635尾）し、滞留状況や逸散状況を調査。

### 事業の流れ

- ・ 時期：7月～8月
- ・ 実績：1,255尾（目標：1,000尾）
- ・ 買上場所：  
大島美の浜漁協（岡山県笠岡市）  
黒崎連島漁協（岡山県倉敷市）



瀬戸水研に移送し、一時飼育

本年10月、瀬戸内海中央部で標識再放流し、滞留状況や逸散状況を調査

- このほか、瀬戸水研では、岡山県児島湾における放流魚の追跡調査を実施。